

# 韓国で口蹄疫が発生しました！ 口蹄疫防疫対策の更なる徹底を お願いします！

平成22年の宮崎県での発生以降、日本での口蹄疫の発生は確認されていませんが、近隣諸国では引き続き口蹄疫が発生しております。

特に韓国においては、昨年4月以降、8か月ぶりとなる口蹄疫（O型・豚）の発生が確認されました。

また、他の東アジア諸国でも継続して口蹄疫の発生が確認されています。

さらにこれからアジア地域における人・物の移動が一層盛んになる春節（2月8日）を迎えることもあり、日本国内への口蹄疫ウイルスの侵入リスクが極めて高い状況にあると考えられます。

## 飼養家畜が特定症状を呈していたら早期通報を！

☆以下の①～③のどれかを呈していたら特定症状

- ①発熱39℃以上の家畜が  
泡沫性流涎、跛行、起立不能、泌乳量の大幅な低下or泌乳停止  
のいずれかを呈し、  
口腔内、鼻部、乳頭等に水疱、びらん、潰瘍又は癬痕を呈す場合
- ②同一畜房内で複数の家畜の口腔内等に水疱等があること
- ③同一畜房内で半数以上の哺乳畜が2日間で死亡すること

山梨県西部家畜保健衛生所

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間の連絡は・・・090-5564-1018

土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018 または090-5568-0817

2016年1月11日現在

## 韓国における口蹄疫の発生状況 (2016年1月以降)



### ○2014年以降の韓国における口蹄疫の流行(O型)

- ・2014年7月～8月: 3件(豚3件)  
慶尚北道(2件)、慶尚南道(1件)
- ・2014年12月～2015年4月: 185件(牛5件、豚180件)  
忠清南道(70件)、京畿道(56件)、忠清北道(36件)、江原道(11件)、  
慶尚北道(8件)、仁川広域市(2件)、世宗特別自治市(2件)

※最終発生日: 2015年4月28日(忠清南道洪城郡 牛)